

保存版

千葉県公立高校入試
分析と対策

国語



千葉県公立高校入試 分析と対策 国語 目次

- 1) 配点表からわかること
- 2) 新傾向の兆候
- 3) 国語は勉強しない科目？
- 4) 時間配分を考えよう
- 5) ジャンル別留意点①－聞き取り問題－
- 6) ジャンル別留意点②－言語事項の問題－
- 7) ジャンル別留意点③－文法問題－
- 8) ジャンル別留意点④－作文問題－
- 9) ジャンル別留意点⑤－読解編－



1) 配点表からわかること

千葉県はバランス型！？

配点表（公式発表の出題分類とは異なる）

◆■は融合問題

年度	平均点	聞き取り	言語事項 ^{※1}	文法 ^{※2}	説明的文章	文学的文章	古文	漢文	作文	その他
25年前期	44.7点	8点	22点	8点	14点	20点	◆12点	◆4点	12点	2点
25年後期	52.6点	10点	18点	8点	16点	25点	◆12点	◆3点	10点	
24年前期	48.7点	12点	18点	6点	◆27点	21点	■14点	2点+■4点	◆12点	
24年後期	43.9点	13点	16点	4点	20点	24点	◆23点		◆8点	
23年前期	47.1点	12点	19点	8点	◆24点	21点	13点	3点	◆12点	
23年後期	52点	12点	18点	5点	20点	25点	◆20点		◆8点	
22年	56.1点	◆20点	20点	4点	19点	21点	13点	3点	◆12点	
21年	48.8点	◆20点	16点	9点	18点	21点	13点	3点	◆12点	
^{25年入試} 他県比較	平均点	聞き取り	言語事項	文法	説明的文章	文学的文章	古文	漢文	作文	その他
東京	60.5点		20点		◆30点	25点	25点		◆10点	
埼玉	65.6点		16点	6点	25点	25点	12点		16点	
神奈川	67.8点		16点	2点	28点	22点	16点		14点	2点
茨城	64.9点		21点	6点	21点	18点	10点		10点	11点

※1) 言語事項には、漢字の他に「暑中」などの手紙で使用する言葉も含めた。

※2) 文法には、敬語の活用も含めた

2) 新傾向の兆候

新指導要領になってどこからでも出題されるようになってきているよう印象も受けます。学校でやっている可能性のあることなら何でも出ると考えてバランス良く勉強した方がいいかもしれません。

出題変化の兆候が現れている例

- 慣用句・・・25年前期
- ことわざ・故事成語・・・22年、23年前期
- 対義語・・・25年前期
- 文章を良くする助言・・・25年
- 四字熟語・・・23年度以降
- 手紙文・・・22年4、24年前期4
- 詩の鑑賞・・・23年前期聞き取り
- 古文漢文融合問題・・・24年以降

3) 国語は勉強しない科目？

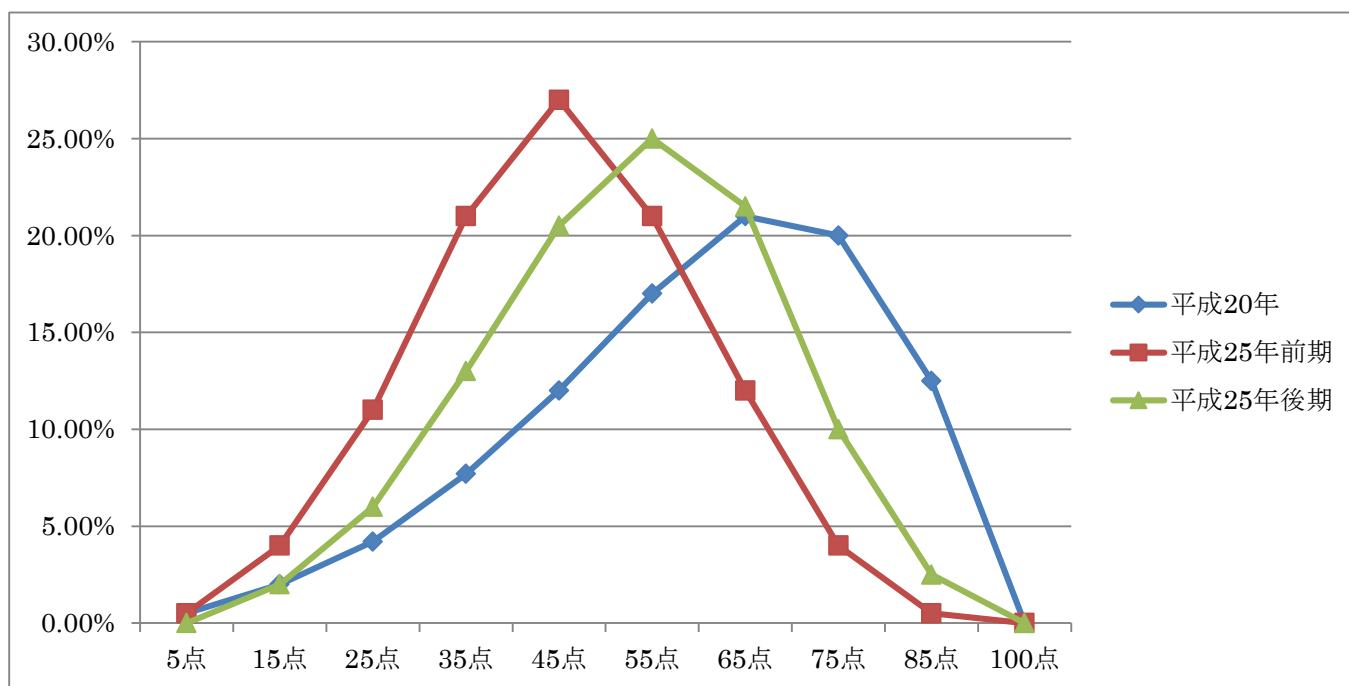
平成 20 年度は平均点が約 60 点でしたが、5 年間でその平均点は 10 点近く下がってきています（平成 25 年前期約 45 点、後期約 53 点）。

下の参考資料の平成 20 年度と平成 25 年度入試の得点分布の違いを参照して下さい。この表を見てもわかる通り、難しくなると点数が急激に下がるのは国語を得点源としている人です。平成 20 年度では約 50%の生徒が 70 点以上得点していましたが、25 年度ではほとんどの生徒が 50 点前後に終わり、80 点以上の高得点を取る人もかなり減っています。このことは反対に、国語の苦手な人は 50 点取れば、国語の得意な人とも差をつけられずに済むことにもなります。他科目の出来具合では逆転のチャンスもでてきます。

とはいえ、中学生が一番勉強していない科目は「国語」だと思います。「国語はどう勉強したらいいかわからない」「国語の授業受けても成績が上がるわけがない（現在の読解力次第）」と思われるからです。そうであるなら、むしろ受験勉強で差がつくのは案外「国語」なのかもしれません。

【平成 20 年度と平成 25 年度入試の得点分布の違い】

※およその平均は 20 年が 60 点、25 年が前期 45 点、後期 53 点



4) 時間配分を考えよう

国語難化原因は千葉県の出題が **バランス型** で「**解くのに時間がかかる**」からかもしれません。

ということは

ペース配分がカギ！！ になりそうです。当日のペース配分を考えてみました。

推奨ペースは、**難易度の割に配点の低い「説明的文章の読解の途中で試験終了する」ペース**です。その方が時間切れでも大きな差にならないので失敗のリスクを低くできます。

また、**国語が苦手な人は配点高めの「作文」に時間をかけさせます。**

V もぎで実際に練習してみると良いと思います。

前期入試 (50 分)			後期入試 (40 分)		
標準ペース	推奨ペース	平均点死守の人	標準ペース	推奨ペース	平均点死守の人
聞き取り 9:25~9:30(10分)	聞き取り 9:25~9:30(10分)	聞き取り 9:25~9:30(10分)	聞き取り 9:15~9:20(5分)	聞き取り 9:15~9:20(5分)	聞き取り 9:15~9:20 (5分)
2~4言語事項 9:30~9:35(5分)	2~4言語事項 9:30~9:35(5分)	2~4言語事項 9:30~9:35 (5分)	言語事項 9:20~9:21 (1分)	言語事項 9:20~9:21(1分)	言語事項 9:20~9:21 (1分)
文学的文章の読解 9:35~9:50 (15分)	古典 9:35~9:40(5分)	作文 9:35~9:45(10分)	説明的文章の読解 9:21~9:33 (12分)	古典 9:21~9:26 (5分)	作文 9:21~9:30(9分)
説明的文章 9:50~10:05 (15分)	作文 9:40~9:45(5分)	古典 9:45~9:52 (7分)	文学的文章の読解 9:33~9:45 (12分)	作文 9:26~9:31 (5分)	古典 9:30~9:35(5分)
古典 10:05~10:10(5分)	文学的文章の読解 9:45~10:00(15分)	文学的文章の読解 9:52~10:05 (13分)	古典 9:45~9:50(5分)	文学的文章の読解 9:31~9:45(14分)	文学的文章の読解 9:35~9:45(10分)
作文 10:10~10:15(5分)	説明的文章 10:00~10:15(10分)	説明的文章 10:05~10:15(10分)	作文 9:50~9:55(5分)	説明的文章の読解 9:45~9:55 (10分)	説明的文章の読解 9:45~9:55(10分)

5) ジャンル別留意点①ー聞き取り問題ー

★25年度から事前に問題を見ることができるようになった。

25年前期：問題文と選択肢の全てを聞き取る→5W1Hのメモ力

25年後期：問題文を事前に目を通すことができる。→全体に関する出題、文脈を問う出題

★対話や話し合いの聞き取りが主流（22年以降）

- ・人間関係（24年後期）
- ・発言者の驚いたこと（23年前期）
- ・発言者の発言根拠（22年）
- ・発言者がグラフから読み取ったこと（22年）

★全体の構成に注目

- ・テーマの把握（23年後期、24年前期）
- ・展開の把握（21年、22年）
- ・まとめ（メモ）の完成（23年後期、24年前期、24年後期、25年前期）
- ・具体例の抽出（21年）

★改善する部分が入っている。違和感をメモ。

- ・問題点の指摘（25年後期、24年前期）
- ・不適切な言葉の使い方の訂正や指摘（25年前期：四字熟語、23年後期：尊敬語→謙譲語）
- ・心がけていたこと、心がけること（24年後期、25年後期）
- ・助言内容（23年前期、24年前期）

★数字にまつわるものもチェック。但し、事前に問題をも読み取る前期型。

- ・数字のチェック（20年：集合時刻、23年後期：訪問時刻）
- ・個数宣言されたポイントの抽出（20年：3つの大切なこと、21年：2つの問題、24年前期3つの改善点）

【参考資料】千葉県聞き取り出題分析

年度	配点	平均	テーマ	備考
25年・前期	10点	62.7%	ニュース原稿のチェック	5W1Hをメモする。選択肢も読み上げ2回。四字熟語訂正2点分
25年・後期	10点	53.6%	私たちが地域に貢献できること。	話し合いを聞き取る。司会者の視点。
24年・前期	12点	44.8%	道案内	電話で正確に伝えるには
24年・後期	13点	74.1%	働く人から学ぶ	インタビュー
23年・前期	12点	67.6%	詩の鑑賞	先生と生徒との対話
23年・後期	14点	67.5%	電話内容のメモ	訪問の約束を取る電話
22年	20点	62.3%	読書	作文融合（12点）。資料介在型。
21年	20点		環境・資源問題	作文融合（12点）
20年	20点	58.7%	修学旅行前日の学年集会	作文融合（12点）

「ぶっつけ本番」が受験生の現状なので狙い目か！？

6) ジャンル別留意点②一言語事項の問題一

【千葉県と言語事項に関する出題の変化】

25年前期	四字熟語「一心不乱」	三字熟語「有頂天」	慣用句	対義語
25年後期	四字熟語「公明正大」			
24年前期	四字熟語「針小棒大」	手紙書き出しの語		
24年後期	四字熟語「単刀直入」			
23年前期	四字熟語「一朝一夕」	故事成語「他山の石」		
23年後期	四字熟語「粉骨砕身」	四字熟語「順風満帆」		
22年	手紙書き出しの語	ことわざ		
21年	文・慣用句			
20年	説・ことわざ			
19年	文・気が置けない			
15年	古・臨機応変			

★シンプルな漢字問題から言語事項の比重は上がってきています。ところが、高校入試用の塾用教材は言語事項に関するものが少ないのが現状です。中学入試用、大学入試用を流用して使うのがベストでしょうか。

7) ジャンル別留意点③－文法問題－

「国語の文法ができないので国語の文法をやりたい」と生徒はよく言います（3年生では学校で難しい助詞と助動詞をやりはじめますので、国語の勉強＝国文法と考える生徒が毎年います）。しかし、文法問題集を1冊やろうとすると時間もかなりかかってしまうわりに配点も低いのが現状です。しかも最近は敬語が中心です。過去問をやった範囲の調べ学習程度にとどめ、「国語の入試で点を取るなら読解と語彙力 UP が中心」と説得しましょう。

最近の出題傾向としては、前期入試は素直な出題多いですが、後期入試の文法問題は4択でも「ひっかけ系」になってきていて難化しています。「後期の文法問題は慎重に解く」ように心がけたいです。

【千葉県の文法出題の歴史】

25年前期	8点	主部・述部の関係の訂正	動詞の活用形	謙譲語を尊敬語に直す	
25年後期	8点	「ながら」の区別	品詞分類「動詞×形容詞」		
24年前期	6点	尊敬語に直す	尊敬語補充	品詞分類「形容動詞×副詞」	
24年後期	4点	修飾関係			
23年前期	8点	謙譲語に直す	謙譲語はどれか	2文に分ける	
23年後期	5点	主語の抜き出し	謙譲語を尊敬語に直す		
22年	4点	謙譲語に直す	動詞の活用形		
21年	9点	主部・述部の関係の訂正	単語区切り	品詞分類「名詞×形容詞」	
20年	9点	謙譲語に直す	動詞をそのまま抜き出す	主部・述部の関係の訂正	動詞の活用の種類
19年	8点	動詞の活用の種類	単語区切り		
18年	3点	動詞の活用形			
17年	3点	品詞分類「ない」の識別			
16年	3点	修飾関係の訂正			
15年	3点	修飾関係の訂正			
14年	9点	主語の抜き出し	動詞の活用形	品詞分類	
13年	8点	動詞の活用の種類	2文に分けたときの接続語		
12年	7点	修飾関係	傍線の品詞名		
11年	10点	品詞分類	対応関係を見抜く	単語区切り	主語抽出 動詞の活用の種類
10年		品詞分類	文節関係	助詞「が」 並列関係に合うように	動詞の連用形の名詞化
9年		品詞分類	熟語の構成	主語抽出 並列「し」の活用	単語ばらばらから整序
8年		品詞分類	単語区分	主語抽出 「れ」の意味・用法	「なる」を連用・終止形に
7年		動詞の活用形	並列「も」の挿入	主語探し	形容動詞を名詞に接続させる

8) ジャンル別留意点④－作文問題－

資料の得点分布をみると、3割以上の生徒が部分点をもらえています。特に読解が苦手な生徒ほど作文で得点を稼ぎたいところ。頻出テーマをあらかじめ書いて練習しておきたいです。

★全国的な頻出作文テーマ★

- 仕事（働くこと）に関するもの
- 言葉に関するもの（方言要注意）
- 読書に関するもの
- あいさつ
- 日本人・日本に関するもの
- ボランティア（地域貢献）に関するもの
- 環境問題に関するもの

【参考資料】千葉県作文出題分析

年度	配点	平均				テーマ	条件	
		前期	1～3点	4～7点	8～11点			12点
		後期		1～5点	6～9点			12点
25年前期	12点	10.4%	16.1%	12.5%	3.7%	手書きで漢字を書くことと、情報機器で漢字を使うことについて	前段で資料から読み取ったこと、後段で自分の考えと、具体例と体験を入れる	
25年後期	10点		30.9%	16.2%	7.6%	日本人の感情表現	1段構成。能面の表情の変化、それに関連する日本人の感情表現。文末条件あり（です・ます）。	
24年前期	12点	10.2%	17.7%	14.9%	6.2%	自分の気持ちを言葉で言い表そうとするとときに気をつけること	説明文融合。前段で「言葉の果たす役割」にふれ、後段で自分の体験などでまとめる	
24年後期	8点		19.1%	9.6%	5.5%	物事を判断し行動するときの基準	古典融合。文章中の孔子の行動にふれながら。	
23年前期	12点	7.1%	16.1%	14.2%	8.5%	効率優先の考え	説明文融合。前段で文章中の捉え方をまとめる。後段でそれに対する自分の意見とその根拠を書く。	
23年後期	8点		27.1%	15.9%	13.2%	本当の優しさ	古典融合。古文における僧侶の行為にふれながら。	
22年	12点	5.4%	17.4%	30.7%	19.3%	本の読み方について	聞き取り融合。発言者の考えを前段でまとめ、後段で体験にふれながら発言者の意見についての考えを書く。	
21年	12点					環境・資源問題	聞き取り融合。2つの意見を読み、考えを体験を交え根拠を明確にしながら述べる。	
20年	12点	6%	16.6%	40.9%	25.8%	修学旅行を成功させるために、常に心にとめて行動すべきことがらから、日常生活において大切にしたいこと。	聞き取り融合。2段落構成。自分の考えの理由を体験を交えながら。	

9) ジャンル別留意点⑤－読解編－

【説明的文章】

千葉はバランス型で文章は短めです。したがって、速読というより精読と問題文の吟味が読解のポイントになってきます。テーマは、自然論、言語論、思考、哲学、コミュニケーションなどがよく出ています。

【文学的文章】

千葉県の特徴は、時代設定が現代ではない文章が多く出ています。江戸時代（12年、13年、15年、18年、23年前期）、安土桃山（22年）、明治（25年前期、17年）など。ちょっと読みにくい時代背景のものを好んで読んでおくと差をつけることができるでしょう。

【トレンドの著者の本を読もう】

全国高校入試問題正解（旺文社）を数年チェックすると全国的なトレンドをチェックすることができます。千葉県でも、文学的文章では23年後期入試で頻出作家の「宮下奈都」、説明的文章では24年前期入試で頻出著者「鷺田清一」の文章が登場しています。できれば、上位の生徒は全国の過去問を解くところまでたどり着いてトレンドの文章に慣れさせたいところです。

ところで、保護者から「どんな本を読めばいいですか？」と聞かれることもあるかと思います。その際は、出題ランクの高い作家や著者を勧めてみてはどうでしょう。下記に出題率の高い方達を上げておきました。

なお、最新のVもぎでは出題ランクの高い著者の文章が出てきます。「同じ文章も出るから、毎月受験しないのはもったいないよ！」と生徒に受験を促しましょう。ちなみに、平成25年1月13日そっくり模試で出題された文章が、その数日後の日大習志野高の平成25年入試問題で出題されていました（池内了『科学と人間の不協和音』）。

全国頻出作家	全国頻出著者	教科書著者も要注意
重松清（教科書）	外山滋比古	福岡伸一
まはら三桃	鷺田清一（24年出題）	内田樹
あさのあつこ（教科書）	茂木健一郎	池谷裕二
宮下奈都（23年出題）	内山節（教科書）	俵万智
小川洋子	齋藤孝	野矢茂樹（25年出題）
内海隆一郎(21年出題)	日高敏隆	星野道夫
竹内真	池内了（教科書）	
瀬尾まいこ	森本哲郎	
はらだみずき	鷺谷いずみ	
伊集院静	森博嗣	
	中村明	

【古典的文章】

とにかく慣れ親しむのが中学古典。千葉県の過去問を中心に読み進めていきましょう。その際には、出てきた古文単語もまとめておいて反復するとなお良いと思います。→別冊（千葉県公立高校入試古典演習）参照

また、教材としてはコンパクトサイズでいつも持ち運べる旺文社の「出る順 古文問題の征服」がオススメです。